

## 自己点検表

### 1. 教員個別表

フリガナ ヤマザキ ヒロフミ 氏名 山崎 洋史	職名 教授  人間学部 心理福祉学科	取得学位 博士(海洋科学) (大学名) 東京海洋大学 (取得年月) 2013年3月  取得学位 博士(宗教学) (大学名) 國學院大學 (取得年月) 2020年3月
----------------------------	--------------------------	--

### 2. 教育・研究業績表

#### (1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月(西暦)	概要
① 教育内容・方法の工夫 ・プロジェクト・ベースト・ラーニング(世田谷区連携プロジェクト名) 「世田谷区 若者のこころの居場所 アイリス」	2015年4月～ 2021年3月迄	東京都世田谷区長及び子ども若者部と、大学山崎研究室の地域連携プロジェクト。 文科省提唱から始まる「心の居場所」「若者の居場所づくり」として、世田谷区分庁舎(三軒茶屋)一室を委嘱され、週2回「若者のこころの居場所 アイリス」と命名し地域の高校生から25歳までの女性対象の各発達に応じた心の居場所づくり企画・運営。 臨床心理専攻の大学院生がボランティア活動の一環として運営。 (X: <a href="https://twitter.com/irits_sancho">https://twitter.com/irits_sancho</a> )
・「教育心理学」(2年次)授業におけるロールプレイング 及びフィードバック、アクティブラーニング	2008年4月～ 2021年3月迄	「教育心理学」(2年次)の授業において、ロールプレイ、ゴールセッティングエクササイズ、セルフモニタリングを実施。各発達段階における理論と学習支援体験。
・心理学ピア・ラーニング合宿	2017年4月～ 2021年3月迄	人間関係ゲームによるグループ合宿を年に2回・2泊3日の大学研修施設で企画・実施。心理学的集団体験及びピア・フィードバックを中心に、学生によるテーマ・エクササイズ等自主企画合宿を実施。大学よりプロジェクト予算獲得。
・コミュニティ・サービス・ラーニング 「心理支援 CSL」	2011年4月～ 2021年3月迄	東京都区市教育委員会・神奈川県教育委員会・国立青少年センター等と連携し、21自治体・団体における学生ボランティア経験を授業

<p>・「臨床心理学」(3年次)・「臨床心理学概論」(2年次)授業における ZOOM遠隔ロールプレイング及びフィードバック</p> <p>・「教育実践演習(中高)」授業における 宮城県公立小中学校教育指導者との協働学習 ・アクティブラーニング</p> <p>・「心理調査概論」授業における 東北大学学部・大学院学生(理系)との協働学習 ・ピア・ラーニング</p>	<p>2020年4月～ 2021年3月迄</p> <p>2021年4月～ (現在に至る)</p> <p>2023年4月～ (現在に至る)</p>	<p>単位とした。 フィードバック、シェアリング、プレゼンテーションを毎年実施。 不登校支援、学修支援などを通じた心理支援の実際(コミュニティボ ランティア)。年末に学生・自治体・教員参加の成果発表会を実施 し成果のシェアリングを実施。</p> <p>コロナ禍中で導入された大学リモート授業(ZOOM)において、カウ ンセリング面接ロールプレイ及びフィードバック、シェアリングを実 施。ブレイクアウトルーム及びチャット、投票機能等などの活用によ る双方向スキル学習の深化。学生からの評価が極めて高かった。アフ ターコロナの授業における大きな示唆が得られた。</p> <p>宮城県小中学校で指導的立場にある教育委員会指導主事・教諭・管 理職による協働学習の実施。学校教育現場における効果的実践と、模 擬体験を通じた児童生徒ロールプレイによる気付き促進とモチベー ションの向上を企図したアクティブラーニング。 学校教育に対する具体的イメージの醸成の視点から学生の評価が 極めて高い。</p> <p>「心理支援」を深化させるためのベースライン・アセスメントにお いて、心理調査法(科学的アプローチ)を深化させることは極めて重 要である。本学文化系学部の心理福祉系学だけではなく、東北大医 学・工学などの理系学部・大学院生との協働学習の実施。問題の明確 化、先行研究リサーチ、仮説設定、調査項目の精選、Googleフォー ムによる調査実施、多変量解析、高圧に至る、科学的リサーチの方法 のアクティブラーニング。 理系学生のデータと技術を用いた心理福祉上の課題解決に取り組み に対しての気づきの視点から学生の評価が極めて高い。</p>
<p>② 作成した教科書(一部再掲) ・「教育の最新事情」(共著) ミネルヴァ書房</p>	<p>2009年8月</p>	<p>教員免許状更新講習講座 講師「教育の最新事情」</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校教育とカウンセリング力」（単著）学文社</li> </ul>	2009年11月	学校教育における児童・生徒・教師に対する心理支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新はじめて学ぶメンタルヘルスと心理学」（共著）学文社</li> </ul>	2017年4月	心理学概論書
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童心理 子供の心をつかむ先生「その場に合った自己開示のできる先生」（共著）金子書房</li> </ul>	2018年9月	小学校教職員対象の教書。クラス運営における教師の自己開示の重要性に関する内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校教育相談の理論・実践事例集 いじめの解明 学校コンサルテーションの展開」（共著）第一法規</li> </ul>	2021年3月	教職を目指す学生及び、学校教職員対象の教書。いじめ対応に関する学校コンサルテーションの展開に関する概論。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「救助人材育成ガイドライン」（有識者執筆協力）総務省消防庁</li> </ul>	2023年3月	消防隊員教育における救助隊長としてのマインドや、現場・訓練指導における理想的な救助隊長像をもとにした指導ガイドライン
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「訓練効果を高めるための救助訓練指導マニュアル」（有識者執筆協力）総務省消防庁</li> </ul>	2023年3月	消防隊員教育における訓練効果を高めるため救助訓練指導の流れ、隊員の主体性を高める訓練指導のポイント、効果的な振り返り手法指導マニュアル
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様化する救助事象に対応する救助体制のあり方に関する高度化検討会（救助人材育成）報告書」（有識者執筆協力）総務省消防庁</li> </ul>	2023年3月	「救助人材育成ガイドライン」「訓練効果を高めるための救助訓練指導マニュアル」及び動画の活用の周知、全国の救助隊長及び救助隊員の育成に関する実態、課題及びニーズの把握と共に、必要な見直しを行いながら、時代に即した救助人材の育成について、検討していくこと。および、消防大学校と協働して、救助人材の養成及び育成に努めること。などの育成マニュアル・ガイドラインの概説。
<p>③ 教育方法・実践に関する発表、講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育技法」講演、全国自治体において多数</li> <li>・ 都県教育委員会、市教育委員会等における教員研修等</li> <li>・ 学会ワークショップにおける講演多数</li> </ul>	<p>年間数十回</p> <p>〃</p>	<p>全国各自治体（総務省消防・法務省・教育）初級・中級・上級幹部対象講演、「教育技法」「発達に関する理解」他</p> <p>学校管理職研修、現職教師対象講演「認知行動的セルフモニタリング」「メンタルヘルス」「認知教育」「心理教育」等</p> <p>日本学校教育相談学会、国家資格キャリアコンサルタント、産業カウンセラー、他、「教育心理学」「臨床心理学」「心理教育」「心理アセス</p>

ex. ワークショップ (2023年) 「学校教育相談実践を、心理学論文(科学論文)に仕上げる方法 —現場に応じた素晴らしい実践活動の成果を次世代に繋いでいく ために—	2023年8月	メント」「認知行動療法」等  日本学校教育相談学会 第35回総会・研究大会 (新潟大会)
	ex. 講演 (2023年) ・「人を育てるための教育技法—救命救急セミナー—」	2023年9月
他 多数		//

(2)過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月(西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	共著者名 (共著の場合)	編者名と当該執筆 者数(編著の場合)	該当頁数
[著書] 青年期食行動異常と認知行動的セルフモニタ リング	単著	2015年7月	学文社 JSPS 科学研究助成事業 (科学研究費補助金) (研究成果公開促進費) (心理学分野 学術図書)			
児童心理小学一・二年生の家庭教育こんなとき どうする?具体例と対処法「朝になると登校を渋 ります」	共著	2016年3月	金子書房		有村久春 他	102-105 頁
新はじめて学ぶメンタルヘルスと心理学 第2章 知ることの過程 1. 認知のメカニズム 2. 記憶システム 第3章 心の発達 1. 発達のとらえ方 第7章 心ころを診る	共著	2017年4月	学文社	吉武光世 他		17-50 頁   94-110 頁 195-201 頁

9-4. 認知行動療法						
児童心理 子供の心をつかむ先生 「その場に合った自己開示のできる先生」	共著	2018年9月	金子書房		有村久春 他	25-31頁
学校教育相談の理論・実践事例集いじめの解明 「学校コンサルテーションの展開」	共著	2021年3月	第一法規		今井五郎 他	3-14頁
新版 訓練指導・統制マニュアル	有識者 協働	2021年6月	東京法令出版	東京消防庁		第1部
宗教と認知行動的セルフモニタリング －青年期の適応を通じて－	単著	2022年3月	学文社 JSPS 科学研究助成事業 (科学研究費補助金) (研究成果公開促進費) (心理学分野 学術図書)			
救助人材育成ガイドライン	有識者 協働	2023年3月	総務省消防庁	総務省消防庁		
訓練効果を高めるための 救助訓練指導マニュアル	有識者 協働	2023年3月	総務省消防庁	総務省消防庁		
〔論文〕 コミュニケーション活動を取り入れたキャリア デザインサポートの研究 －体験的科目参加前後における学生の教職へ の意識及び共感性検討－ (査読付)	共著	2015年3月	学苑(893号), (昭和女子大学)	岩瀧大樹		77-85頁
発達障害を抱える女子生徒の学校適応過程に関 する事例研究 －中学校教育相談室での2年間の支援から－ (査読付)	共著	2015年3月	生活心理研究所紀要17, (昭和女子大学)	岩瀧大樹 他		37-43頁
大学生のキャリアデザインサポートに関する研	共著	2015年4月	群馬大学教育学部紀要	田島祐奈		23-34頁

<p>究Ⅱ －目標達成方略に焦点を当てた探索的検討－ (査読付)</p>			<p>人文・社会科学編第 64 巻, (群馬大学)</p>	<p>他</p>	
<p>教職志望学生のメンタルヘルスに関する研究 －教育実習事前におけるサポートの検討－ (査読付)</p>	<p>共著</p>	<p>2015 年 4 月</p>	<p>群馬大学教育実践研究(第 32 号) (群馬大学)</p>	<p>岩瀧大樹</p>	<p>49－58 頁</p>
<p>集団宿泊体験による学校移行に関わる不適応予防の検討Ⅰ －複数の小規模小学校を対象とした合同事前介入の試験的実践－ (査読付)</p>	<p>共著</p>	<p>2015 年 8 月</p>	<p>教職研究(第 25 号), (立教大学 教職課程)</p>	<p>岩瀧大樹</p>	<p>97－108 頁</p>
<p>女子大学生における進路選択に対する自己効力及び社会人基礎力の研究 (査読付)</p>	<p>共著</p>	<p>2016 年 2 月</p>	<p>学苑 人間社会科学部紀要(第 904 号) (昭和女子大学)</p>	<p>田島祐奈 他</p>	<p>10－20 頁</p>
<p>コミュニケーション活動を取り入れたキャリアデザインサポートの研究Ⅱ －子どもへのサポート体験を通じた学生のリーダーシップおよび協働作業に対する意識の変容 (査読付)</p>	<p>共著</p>	<p>2016 年 3 月</p>	<p>群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編第 65 巻, (群馬大学)</p>	<p>岩瀧大樹</p>	<p>25－36 頁</p>
<p>スクールカウンセラーによる LD 傾向の男子中学生への援助事例研究 －学習サポートおよび学級担任とのコンサルテーションを中心に－ (査読付)</p>	<p>共著</p>	<p>2016 年 4 月</p>	<p>教職研究 28, (立教大学 教職課程)</p>	<p>岩瀧大樹</p>	<p>47－59 頁</p>
<p>青年期版不器用さの自己認知尺度作成の試み －運動経験と過去・現在の自己認知の検討－ (査読付)</p>	<p>共著</p>	<p>2016 年 10 月</p>	<p>群馬大学教育実践研究(34 号) (群馬大学)</p>	<p>林由紀子 他</p>	<p>17－26 頁</p>

進路選択における自動思考と対処行動が進路選択自己効力に及ぼす影響 (査読付)	共著	2017年2月	学苑 人間社会学部紀要 (916), (昭和女子大学)	田島祐奈 他	1-11頁
宗教観と青年期適応に関する研究 -宗教観・信仰の有無と適応感・アイデンティティ確立の因子間相関- (査読付)	単著	2017年2月	國學院大學大学院紀要 -文学研究科-第48号 (國學院大學)		61-77頁
青年期の不器用さの自己認知 -コミュニケーション・スキルおよび適応感との関連- (査読付)	共著	2017年3月	生活心理研究所紀要19 (昭和女子大学)	林由紀子 他	71-82頁
大学生のキャリア形成過程における Planned Happenstance Skills と精神的健康度の関連 (査読付)	共著	2017年3月	群馬大学教育学部紀要 人文・社会科学編66巻 (群馬大学)	田島祐奈 他	31-40頁
青年期の昇進意欲尺度作成の試み -男女差に着目して- (査読付)	共著	2018年1月	群馬大学教育実践研究第35号 (群馬大学)	渡邊洋子 他	27-36頁
心理的居場所感が対人ストレスコーピングに与える影響 -青年期のシャイネスに注目して- (査読付)	共著	2018年1月	群馬大学教育実践研究第35号 (群馬大学)	渡邊美咲 他	37-48頁
宗教観と青年期適応に関する研究 -宗教観認知行動的変数およびストレスコーピングに関する相関研究- (査読付)	単著	2020年2月	國學院大學大学院紀要 -文学研究科-第51号 (國學院大學)		25-44頁
宗教と認知行動的セルフモニタリングに関する	単著	2020年3月	國學院大學大学院文学研究		

研究		(2021年4月)	科神道学・宗教学専攻 博士 学位論文 2021年度 JSPS 科学研究助成 事業(科学研究費補助金)(研 究成果公開促進費)(心理学 分野 学術図書)決定(再掲)			
心理的居場所が過剰適応傾向に及ぼす傾向 (査読付)	共著	2020年3月	生活心理研究所紀要 22 (昭和女子大学)	三浦はるか		47-58 頁
心理専門家への援助要請行動を阻害する認知構 造モデルの検討 -完全主義認知と恥感情に着目して- (査読付)	共著	2021年3月	生活心理研究所紀要 23 (昭和女子大学)	松田琴音		87-102 頁
コロナ渦における不登校支援に関する研究 -遠隔授業 (Zoom 利用)による学校不適応感 の向上-	単著	2022年6月	学校教育相談研究 第 31 号 (日本学校教育相談学会)			1-8 頁
スピリチュアリティの変化とスピリチュアルペ イン減少の相関について	共著	2024年6月	印度学宗教学会論集第 50 号	徳増平、 谷山洋三		

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月(西暦)	発表場所
ストレス認知理論を用いた高齢者家族介護者の心理的因果モデルの検討 -ソーシャルサポートと家族機能に着目して-	2015年5月	第16回日本認知症ケア学会大会 (北海道医療大学)
宗教観がアイデンティティ確立と適応に及ぼす影響	2015年9月	宗教研究第88巻別冊 第73回学術大会紀要日本宗教学会 (同志社大学)
宗教観が青年期適応に及ぼす影響 -集団的および個人的認知変数-	2016年9月	宗教研究第89巻別冊 第74回学術大会紀要 日本宗教学会 (創価大学)



<p>宗教観と青年期適応に関する研究 －認知行動的変数相関－</p>	2017年9月	<p>宗教研究第90巻別冊 第75回学術大会紀要 日本宗教学会 (早稲田大学)</p>
<p>学内連動を促進する大学システムの構築に関する考察 －大学管理職としての全学的学生支援システムの改善と確立－</p>	2018年5月	<p>第36回日本学生相談学会 (関東学院大学)</p>
<p>宗教観が青年期適応に及ぼす影響 －主観的幸福感とストレス－</p>	2018年9月	<p>宗教研究第91巻別冊 第76回学術大会紀要 日本宗教学会 (東京大学)</p>
<p>日本学校教育相談学会発足30周年シンポジウム記念企画 学校教育相談30年の歩み－その未来を展望する－ 企画・シンポジスト講演</p>	2018年8月	<p>第30回日本学校教育相談学会総会・研究大会(東京大会) (昭和女子大学)</p>
<p>学内連動を促進する大学システムの構築に関する考察 －全学的学生支援システム構築と大学におけるHR担当教員(クラスアドバイザー)制度－</p>	2020年5月	<p>第38回日本学生相談学会 (九州大学)</p>
<p>宗教と青年期適応に関する研究 －個人認知変数と抑うつスキーマー</p>	2020年9月	<p>宗教研究第93巻別冊 第79回学術大会紀要 日本宗教学会 (駒澤大学)</p>
<p>宗教と認知行動セルフモニタリングに関する研究 －臨床事例研究－</p>	2021年9月	<p>宗教研究第94巻別冊 第80回学術大会紀要 日本宗教学会 (関西大学)</p>
<p>宗教の認知行動的適応御支援における役割 －効果要因分析から見えてくるもの－</p>	2022年12月	<p>神道宗教学会第76回 令和4年度学術大会 (國學院大學)</p>
<p>宗教と認知行動的セルフモニタリングに関する研究 －心理支援における宗教の役割と可能性－</p>	2023年5月	<p>第64回印度学宗教学会学術大会 (東北大学)</p>
<p>宗教と認知行動的セルフモニタリングに関する研究 －心理支援上の宗教の役割－</p>	2023年9月	<p>宗教研究第96巻別冊 第80回学術大会紀要 日本宗教学会 (東京都立大学)</p>

スピリチュアリティと認知行動的セルフモニタリング	2024年5月	第65回印度学宗教学会学術大会 (東北大学)
宗教と認知行動的セルフモニタリング—学生相談におけるスピリチュアリティの意味付け—	2024年5月	日本学生相談学会第42回大会 (東北大学)

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月(西暦)
日本教育心理学会		1980
日本学校教育相談学会	東京都理事長(2012～現在に至る)	1990
	学会誌編集委員(2005～現在に至る)	
	第30回日本学校教育相談学会総会・研究大会 (東京大会)実行委員長(2018)	
日本学生相談学会		1991
日本心理学会		1994
日本認知行動療法学会		2001
日本宗教学会		2014
印度学宗教学会		2022
日本臨床宗教師会		2024
他		

III 研究費の助成を受けた研究(過去5年間)				
助成機関名	助成を受けた年度 (西暦)	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 (円)
日本学術振興会	2015	平成27年度 JSPS 科学研究 助成事業(科学 研究費研究成	「青年期食行動異常と認知行動的セルフモニタリング」 (心理学分野 学術図書)	

日本学術振興会	2021	令和 3 (2021) JSPS 年度科学研究助成事業 (科学研究費研究成果公開促進費)	「宗教と認知行動的セルフモニタリングー青年期の適応を通じてー」 (心理学分野 学術図書)	
人間発達研究センター	2022	令和4年度研究助成	「宗教と認知行動的セルフモニタリングー宗教感と適応ー」	
人間発達研究センター	2023	令和5年度研究助成	「宗教と認知行動的セルフモニタリングースピリチュアリティと感情・行動ー」	

### 3. 特記事項

2003	岡山大学 医学部 非常勤講師	(現在に至る)
2006	総務省 消防庁 消防大学校 客員教授	(現在に至る)
2010	JASF 医事科学委員会委員 (臨床心理士)	(現在に至る)
2010	日本キャリア開発協会 JCDA 資格更新講座講師	(現在に至る)
2010	日本産業カウンセラー協会養成・更新講座講師	(現在に至る)
2014	日本学校教育相談学会 学会賞受賞 「学校教育における心理アセスメントとゴールセッティング」	
2015	教員免許状更新講習講座講師「教育の最新事情」	(2020年3月迄)
2017	東京海洋大学感謝状 (保健管理センター学生相談心理カウンセラー永年勤続)	
2017	大学基準協会 大学評価委員	(2021年3月迄)
2017	総務省 消防庁 女性吏員活躍推進アドバイザー	(現在に至る)
2017	国家資格キャリアコンサルタント更新講習会講師「認知行動療法」	(現在に至る)
2018	荒川区 いじめ問題対策委員会委員長	(現在に至る)
2019	目黒区 いじめ問題対策委員会委員	(現在に至る)
2019	国家資格 公認心理士現任者講習会講師	(教育領域、産業領域)
2020	法務省 矯正研修所研修講師 (教育技法)	(現在に至る)
2020	日本スクールカウンセリング推進協議会認定委員	(現在に至る)
2021	総務省 消防庁 救助技術高度化等検討会委員	(2023年3月迄)

2022 仙台市 自殺対策連絡協議会委員

(現在に至る)

他 多数